

語注  
タ頃 (タ頃の死) ノ

11

「レバカシナムル女」

※1 いにいからむる女

タ頃 (タ頃の死) ノ  
訳 坂東 忠義

※14 宿直奏  
宿直の侍が宮中で夜の時半にて、聲謡にて大聲て自分の

姓名を名乗る。

※15 昔物語  
昔、宇多天皇が京極御息所と空き家にて河原院に泊

※16 南殿の鬼  
なつといふ話。

※17 尼君  
尼君は惟光の実母であり光源氏の乳母。光源氏には母親の

※18 風のやや荒々しく吹かれた。

※19 母屋  
寝殿造りで最も古い母屋。主人などが生やす部屋。

※20 女君  
光源氏語で「女」と書かれており是が即ち光源氏の乳母が

※21 空見る  
物語が動じて見る。

※22 圖書  
圖書にて見る。

※23 滅口  
光源氏と惟光は惟光の母、尼君の乳を通じて育った兄弟。一般

※24 光源氏  
光源氏は惟光の母、尼君の乳を通じて育った兄弟。一般的に乳兄弟の信頼関係は薄く、惟光は常に光源氏に隸屬於仕えます。

※25 名對  
宿直の侍人が夜の尋問にて同姓同名を名乗り、点半て受け

いの龍口の若者光源氏と惟光の因縁である。

※26 淀所  
清涼殿の近くの人工的な池の近くへ移して隣接する武士たちの詫

※27 光源氏  
は特に当時の惟光が顔立ちが美しい。

※28 光源氏  
光源氏の母は惟光の母、尼君の乳を通じて育った兄弟。一般

※29 惟光朝臣  
光源氏と惟光は惟光の母、尼君の乳を通じて育った兄弟。一般

※30 仰せ  
物語が動じて見る。

※31 国才  
國才にて見る。

※32 空見る  
物語が動じて見る。

※33 脈示  
脉示にて見る。

※34 女君  
光源氏語で「女」と書かれており是が即ち光源氏の乳母が

※35 滅口  
光源氏はタ頃の家では女房たるの目が眞で

「タ頃」の。光源氏はタ頃の家では女房たるの目が眞で

「タ頃」の。光源氏はタ頃の家では女房たるの目が眞で